

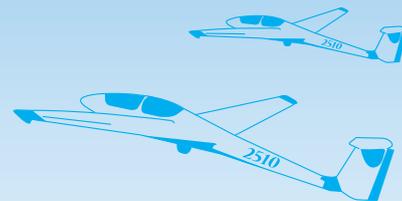
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

4



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1☒
- 2010-2011年度会長エレクト研修セミナー報告☒…2
- ローター財団セミナー・米山セミナー報告☒…3
- ガバナー補佐研修セミナー・
地区チーム研修セミナー報告☒……………4
- ガバナー補佐レポート☒……………5
- I M報告☒……………6～8☒
- 雑誌月間によせて☒……………9
- 委員会活動報告☒……………10
- 世界各地でロータリーの誕生日を祝賀☒…11～12
- 2010-2011年度 地区協議会開催のご案内☒…12
- 新入会員の紹介・訃報
米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます☒…13
- 例会日・例会時間・例会場の変更等について
文庫通信・ロータリーレート☒……………14
- 地区カレンダー(4月・5月)☒……………15
- 出席率・会員数☒……………16

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



ロータリーの4月

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

ロータリーにとって4月は、多様な行事が予定をされている月であります。

クラブでは、次年度に向けてのクラブ協議会、新理事会、新委員会などは当然回を重ねていますし、地区においても、地区委員会、クラブ向けの地区協議会など各セミナーの開催があり、更にはスウェーデンからGSE団員を受け入れ、地区内クラブでお世話を頂く事などもこの4月であります。また、6年も交流が続いている姉妹地区韓国の3700地区の地区大会が、4月23日からソウルの東方にある大邱市で開催され、当地区から20余名が参加いたします。地区内5グループもIMをもち、ガバナーが参加する他地区の地区大会が2地区で予定されている月でもあります。また国際的には、関心を寄せているロータリーの進路を協議する規定審議会が3年に1回の今年に開催され、これもこの4月であります。2009-2010年度はもう3/4が終わり、今は当年度のまとめと新年度の準備が重なる時期でもあり、それらが集中してこのようにタイトに感じるのかも知れません。

ロータリーは基本的に、毎年役員が改選される事により、運営の改善や事業の検証と見直し、あるいは継続や新規を容易に検討出来る仕組みになっています。従って新年度の準備には当年度の体験と検証を生かし、クラブの効率的で効果的なロータリー活動の組み立てと、活動の計画が期待されるものであります。

RI会長ジョン・ケニー氏は「ロータリーの歴史は、繋がっている強固な鎖である。それは先人がその時代その時代のロータリーの奉仕への熱い思いを寄せた成果が鎖のそれぞれの環で表わされ、環が繋がって強固な鎖となってロータリーの歴史を表しています」と解説されています。

RIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手に」から新旧が活動をしているこの時期に、われわれの成果が強固な鎖の環となって役割を果たし、またその思いがしっかりと次へ繋がり、未来に向かって発展することを、新旧が活動をしているこの4月に望むものであります。

2010～2011年度会長エレクト研修セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **久保田 俊 昭**

Toshiaki Kubota
(札幌RC)

2010年3月13日(土)、14日(日)に標記セミナーが開催され、地区内73クラブの会長エレクトが、ルネッサンス・サッポロホテルに集まりました。

初日は、午前中に佐々木正丞ガバナー・エレクトからRIのテーマと地区の目標について説明があり、その後、塚原房樹次期地区研修リーダー(PG)からクラブ運営等についての講話がなされました。

午後は、6つのグループに分かれての分科会討議がなされ、佐々木ガバナー・エレクトから提示された6つのテーマについて討論が行われました。

それぞれのグループには、次期ガバナー補佐2名と、渡邊ガバナー、佐々木GE、熊澤GN、塚原PG、丸山PG、酒井PGおよび矢橋PGがアドバイザーとして参画し、討論をリードされました。

会長エレクトにとっては、4時間にわたる分科会討議で様々な意見を交換でき、今後のクラブ運営に当たって非常に有意義な内容ではなかったかと思われまます。

分科会討議を終えた後、再び一堂に会してそれぞれの分科会を担当された次期ガバナー補佐から報告が行われ、一日目のセミナーを終了しました。

二日目は、前日から引き続いて会長エレクトと、各クラブの次期財団委員長および次期米山委員長が加わって、「ロータリー財団セミナー」および「米山セミナー」が開催されました。

セミナーでは、財団および米山に係る地区の各次期委員長から活動状況等について説明がなされた後に、現在、中国出身の米山奨学生として学業に励まれている、ミヒライ・ウィーリさんからお話をさせていただきました。

最後に渡邊ガバナーにセミナー全体の講評をしていただいて二日間のセミナーを終了しました。

本セミナーの開催に当たっては、ホストの札幌幌南RCのクラブメンバー全員にお手伝いをしていたいただき、非常にスムーズに運営できましたことに対して心から深く感謝申し上げます。

- 2010～2011年度 RIテーマ
 - －地域を育み、大陸をつなぐ－
 - －BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS－

- 2010～2011年度 地区目標
 - ① クラブの活性化、会員増強に向けて、CLPの導入検討をしよう
 - ② 地域ニーズを踏まえて、地域密着の奉仕活動を実践しよう
 - ③ ロータリー財団の理解を深めて協力支援をしよう
「毎年一人100ドル」を協力しよう





ロータリー財団セミナー・米山セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **久保田 俊 昭**

Toshiaki Kubota
(札幌RC)

会長エレクト研修セミナーの第2日目は、各クラブから財団・米山の各担当委員長も参加されて、標記セミナーが開催されました。

財団セミナーでは、冒頭に岩城秀晴・地区ロータリー財団次期委員長(PG)が「ロータリー財団の現況について」説明をなされ、その後「国際親善奨学金」「GSEプログラム」「地区補助金」「財団学友会」について、それぞれ担当の地区次期委員長から説明がなされました。

出席者各位は、昨今の財団の厳しい財政状況を理解し、また財団の「未来の夢計画」についての動向を勉強されて、財団への協力支援を今後とも継続的に積極的に実施する重要性を認識されたものと思われる。



財団セミナー終了後、休憩を挟んで、「米山セミナー」が開催されました。

米山セミナーでは、冒頭に(財)ロータリー米山記念奨学会理事の伊藤長英PGから「米山記念奨学会の現況について」説明がなされ、引き続いて「米山記念奨学金寄附状況」「米山学友会」について、それぞれ担当の次期地区委員長から説明がなされ、さらに米山奨学生の中国出身のミヒライ・ウーリさん(北海道大学博士課程3年)から感銘的なお話をお聞きしました。

米山記念奨学会は、世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動でもあり、その成果は高く評価されております。

しかしながら当事業の財源は、ロータリアンからの寄附によってまかなわれていますが、当地区の実績は全国平均を下回っている状況を踏まえて、ロータリアン各位の一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。



ガバナー補佐研修セミナー

次期地区幹事 **橋本 敏明**

Toshiaki Hashimoto
(札幌RC)

さる2月27日(土)2010-2011年度ガバナー補佐研修セミナーが午前10時から開催された。セミナーをはじめるとあたり渡邊恭久ガバナーよりご挨拶をいただいた。次に佐々木正丞ガバナー・エレクトよりご挨拶と出席者紹介をいただいた。これに続けて国際協議会出席報告および次年度地区目標の概要を話された。詳細については同日午後に行われた地区チーム研修セミナーにて発表された。次に久保田俊昭次期地区代表幹事より次年度地区組織図(案)について説明を行った。引き続き次年度年間計画とクラブ公式訪問日程の発表があり、年間スケジュールの確認と訪問日程に対する次期各ガバナー補佐からの意見を伺った。山中善夫次期地区財務委員長より次年度地区予算(案)の説明があり、国際ロータリー第2510地区のここ数年と将来の財務状況も含めての発表となった。この後出席者同士の意見交換となり、次期各ガバナー補佐から担当グループの課題等が提示され、忌憚のないディスカッションの場となった。セミナーは午前11時30分に閉会した。

地区チーム研修セミナー

次期地区幹事 **橋本 敏明**

Toshiaki Hashimoto
(札幌RC)

2月27日(土)2010-2011年度地区チーム研修セミナーが、午前のガバナー補佐研修セミナーに引き続き午後1時に開催された。開会に際し渡邊恭久ガバナーよりご挨拶をいただいた。次に佐々木正丞ガバナー・エレクトよりご挨拶と出席者紹介をいただいた。これに続けて次年度RIテーマの紹介および地区目標についての基調講演をおこない、次年度にかける地区運営の基本的スタンスを話された。次に塚原房樹次期地区研修リーダー(PG)から「地区リーダーの皆さんへ」という題で講演をいただき、リーダーへの心構えと実行すべき内容とをロータリーの精神に基づき分かりやすく提示された。

久保田俊昭次期地区代表幹事より次年度地区組織図(案)について説明を行い、併せて次年度年間スケジュールについての確認がなされた。次に山中善夫次期地区財務委員長より次年度地区予算(案)の説明があり、次期地区各委員長へ次年度活動に対する予算の枠組みが示された。その後、次期各ガバナー補佐より自己紹介および課題の発表と、次期地区各委員長の自己紹介および次期活動計画について活発な提言がなされた。これまでの説明および議論をふまえて渡邊恭久ガバナーの講評をいただき、熊澤隆樹ガバナー・ノミニの閉会の挨拶で、セミナーは午後4時30分に終了した。





ガバナー補佐レポート

ロータリアンからの好意と友情を頂いて

第2510地区 第5グループ

ガバナー補佐 江口 洸

Hiroshi Eguchi
(札幌清田RC)

2009-2010年度の地区ガバナー補佐を拝命された時は、責任の重さに耐えうるだけの知力、体力が備わっているかと不安を抱いての、渡邊ガバナーの補佐役としての始まりでしたが、ロータリアンの皆さんのお力に支えられ、何とか任期前半を折り返した所でございます。

この間、各地区、グループの皆さんと共に接する中で、ロータリアンでなければ得る事が出来ないと思われる奉仕をさせて頂く上での感動、及び貴重な勉強をさせていただき、私にとってのかけがえのない大きな財産を頂きました。

私は第5グループの8クラブ(新札幌RC・札幌真駒内RC・札幌東RC・札幌南RC・札幌大通公園RC・札幌セントラルRC・札幌幌南RC・札幌清田RC)を担当する事になりましたが、他のクラブに関しての知識が乏しく、渡邊ガバナーを始め各ガバナー補佐、クラブ会長及び幹事の方々のご指導を頂きまして、5月の第1回会長・幹事会、7月からの各クラブの訪問、11月の第2回会長・幹事会、年が明けましての2010年1月のガバナー補佐会議まで、なんとか皆様のお力をいただき終えたところでございます。

各クラブの会長、幹事とのクラブ協議会の日程等の打合せ、懇親会に訪問するうちに各クラブの会長の運営方針及び取組方の熱意が心に伝わり、各クラブの特色を得る事が出来たように思う所でございます。

訪問の中で感銘を受けた事は、クラブの規模に関わらず一人一人のロータリアンが奉仕活動理念を持ちそれぞれのクラブに合った活動方針を立案して一生懸命奉仕活動を推し進めているという事でした。

私がガバナー補佐を拝命された時に強く心に念じた事「事業の道徳的水準を高め、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること」が皆さんのように出来ているのだろうか自分自身の奉仕活動を鑑み反省する思いを持ち、再度気を引き締め、取り組んでいかなければと言う思いを皆様のおかげで持つことが出来ました。又、渡邊ガバナーが重点目標の第一に掲げておられました「そらぷちキッズキャンプ」の引続きの応援を、第5グループの皆さんに受けて頂きまして誠に感謝をしております。

各クラブの皆さんから頂いた感動と行動を促す力を基に、第4グループ荒紀男ガバナー補佐、阿部哲夫IM実行委員長と共に4月24日に開催されるRI第2510地区第4・第5グループ合同IM開催の準備を進め、又残り四半期もガバナー補佐としての責務を尽くしたいと思っておりますので、これからもご指導、宜しくお願い致します。



IM 報告

7クラブ総参加型のフォーラム開催

第2510地区 第6グループ

ガバナー補佐 **見延 庄三郎**

Shousaburo Minobe
(小樽南RC)

- ◆開催日 2010年2月12日 午後1～4時
- ◆会場 グランドパーク小樽
- ◆参加者 登録数194名。参加者182名
- ◆IMテーマ 「ロータリーの魅力は何か」
- ◆サブテーマ 「楽しくなければロータリーではない」然し「楽しいだけでもロータリーではない」
- ◆IMリーダー ガバナー補佐
- ◆アドバイザー ガバナー、IM実行委員長
- ◆パネラー 7クラブから選出された会員

(小樽、小樽南、余市、岩内、倶知安、蘭越、小樽銭函各RC)(注・設立年次順)

◆フォーラムの概要

最初の1時間で7クラブのパネラーから夫々自クラブの独特の個性や存在感を示す紹介があり、続いて「ロータリーの魅力」に就いてのプレゼンテーションが行われました。

その後、1時間に亘ってテーマの「魅力」に就いてパネラーを中心に、会場からの発言を含め活発な討論が繰り広げられました。

その中で「ロータリーの魅力」は何と云っても①社会的地位や立場を超えて、ロータリアンであること、②ロータリーは人間修業、自己啓発の場である事。③高度の情報収集の場である事。④ロータリー活動を通して世の為、人の為に尽くすことが出来る。結果の大小に拘わらず、奉仕することによって得られる喜びは金銭に換えられぬ喜びである。「ロータリーは人生の幸せの宝庫」である等、心に響く発表が沢山ありました。

そしてその幸せを掴むにはクラブ活動や奉仕活動に積極的に参加することが大事である事、又社会経済の変化によって直面する困難に対しては、「不易と流行」の精神で、ロータリーの根本理念は変えてはならないが、仕組みややり方などは時代の変化に対応して積極的に変えてゆくべきである等、時間を忘れての熱い討論が交わされました。最後に渡邊ガバナーから「今日のIMは理想的パターンであり、充実したIMでした」との講評を頂きました。

従来のIGF(一般討論会)方式で、知恵を絞り心を寄せ合うことが出来たのはとても良かったと思います。主役を務めた7名のパネラーの率直で真剣な発表とアドバイザーの適切な助言、そして会場からの発言等フォーラム本来のやり取りから、多くの共感や感動を貰うことが出来た事は大きな収穫でした。

次期ガバナー補佐は皆川岩保会員(倶知安RC)。次期IM開催地は倶知安町と決定しました。関係者の皆さんに心からお礼を申し上げ、以上報告と致します。





I M 報告

第9グループIM報告

第2510地区 第9グループ

ガバナー補佐 **黒田 秀雄**Hideo Kuroda
(室蘭東RC)

RI第2510地区第9グループIMは、ガバナー補佐出身RCが担当となる慣例となっております。グループ6クラブのうち洞爺湖RCを除く伊達RC・登別RC・室蘭RC・室蘭北RC・室蘭東RCが、5年毎のローテーションでガバナー補佐を選出しております。

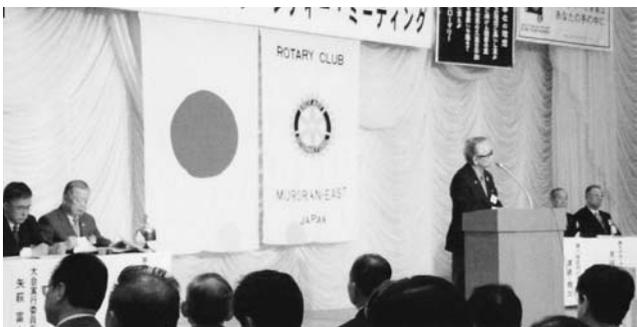
前年私がガバナー補佐指名に内定した時点におきまして、理事会にIM開催の是非について諮問を致しましたところ、全員一致で開催に協力するとの答申を頂き、実行委員会発足の運びとなりました。

2010年2月13日(土)午後3時30分より、第38回IMを蓬峯殿(室蘭市)に於いて開催致しました。御来賓として前日第6グループに参加され、当日第9グループ、翌日第8グループIMに参加予定の超多忙の中、渡邊恭久ガバナー及び第6グループ見延庄三郎ガバナー補佐、遠藤秀雄パストガバナー、神部洋史代表幹事の皆様の御臨席の下開会致しました。

IMのテーマの選定につきましては、室蘭は物づくりとのコンセプトで発展した都市であるとの結論から、『デザインからの街づくり』～ものづくり100年の未来に向けて～と致しました。

基調講演は室蘭工業大学講師真境名達哉氏に御依頼し、更にパネラーとして二人の若いものづくりのデザイナーである、須藤大介氏、登尾真帆氏の作品を紹介しながら発表して頂くことになりました。作品発表後、松永英樹会員の司会によるパネルディスカッションに移りました。このIMのテーマが、参加者の物づくりのヒントの一助となることを期待しながら無事終了致しました。

休憩をはさんだ後、待望の懇親会に移りました。その場では、物づくりの原点の一つである「ボルタ人形」を参加者全員に記念品として用意し、又キッズキャンプに来る小児ガンの子供達へ特大の「ボルタ人形」を寄贈しました。その上キッズキャンプの支援の風船運びゲームに来賓会員に参加頂き、その結果、些少ながら浄財を渡邊恭久ガバナーを通して寄付することができました。参加者全員が楽しい雰囲気の中で、無事終了致しましたことを御報告申し上げます。



I M 報告



インターシティ・ミーティングを終えて

第2510地区 第8グループ

ガバナー補佐 **山田博継**

Hirotsugu Yamada
(三石RC)

RI第2510地区第8グループIMを平成22年2月14日(日)「新ひだか町三石福祉センター」に於て、渡邊 恭久ガバナー、神部洋史代表幹事にご臨席いただき、静内RC33名、浦河RC26名、様似RC13名、えりもRC9名、ホストクラブ三石RC15名と会員夫人10名総数106名の参加を得て開催しました。

私の挨拶の中で、IMは近隣数クラブが集まって開かれるロータリーの会合であり、討論の主な内容は四大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討すると云われていますが、渡邊ガバナーの講演をIMの『要』とした事を申し上げたのです。

渡邊ガバナーは「私の生業とロータリー活動」と題して講演を始められ、講演の冒頭に2012～2013年度のガバナーに、日高管内から始めて静内RCの細川好弘さんを指名委員会に於て満場一致で決定した事を報告され本旨に入りました。

渡邊ガバナーの講演の概要を記しますと、「5人兄弟(姉妹)の長男として看板業を営む家庭に生まれ、幼少の頃は弟子、職人等が住み込み同じ生活をしており、地域が一つになって隣近所の人達が皆父母兄弟の様に過ごした時代であった。そのうち進学を志望し高校、大学へと進み学問を積むにつれて教育に携わりたくなかったが、卒業を間近にした2月2日に父親が急逝し、家族あり弟子職人が多くおり、やむなく社業を継いだ。昔は徒弟制度で弟子入りし、修行を積み努力を重ね才能を生かし、そして感性を高めつつ5年～7年かけ一人前となり一生の職業としたが、現在は学校を出て就職しても好きな仕事でない、きつい仕事は嫌いと辛抱をしないで辞める人が多い。仕事に対する自分の心の置き所、自分の働いている仕事に対して自分の心の持ち方を変えれば、もっと働いていることに対して生き甲斐を感じていくのではないだろうか。ロータリアンは職業分類に於て地域を代表される方々ですのでご自分の職業に対して或いは職種に対して誇りを持って、仕事について若い人達にしっかり伝えて行く、そして仕事を尊重して行く、そういう地道の作業というのが日本の国を再生して行く一つではないかと思っている。私がロータリーに入り35年、職業が違う、社会的立場が違う、そう云う方々が一つのロータリーというテーブルについて、同じ目線で話し合うという事が最初は凄いなあ、恐ろしいなあと思った。ロータリアンはその人の立場、体験、経験、年齢、職業を超越して参加しているのであり、自分の職業というものに対してしっかり自覚しながら社会に向かって奉仕を続けて行かなければならない。」と熱く語っていただきました。

引き続き会場を「みついしふれあいプラザ」に移し、酒井芳秀新ひだか町長及び中島滋新ひだか町議会議長をお迎えし、三石RC40周年記念式典を行い、その後懇親会を催し、酒が気持ち良く心身に浸りてきた頃、当クラブの社会奉仕委員長が予め用意をして置いた「そらぷちキッズキャンプ」支援ボックスを各ロータリアンにお願いしたところ、7万円が集まりました。

斯くして和気あいあいの中ですべてが終了致しました。





雑誌月間によせて

ロータリーの友

地区委員 **中島 健**

Takeshi Nakajima
(滝川IRC)

4月は「雑誌月間」です。国際ロータリー(RI)の公式機関誌『The Rotarian』および、世界31のロータリー地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間で、ロータリーの雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

『ロータリーの友』は、RIから承認を受けている31の地域雑誌の一つであり、地域雑誌、または公式機関誌『The Rotarian』どちらかを購読することは、会費納入、例会出席と同じくロータリアンの義務となっています。特に『ロータリーの友』は日本のロータリアンのための情報誌として発行されており、世界や日本のロータリーの種々の活動や現況を知る上で最も適当なものと思われます。

『The Rotarian』は、アメリカ・イリノイ州エバンストンにあるRI世界本部で発行されていて、99年前の明治44(1911)年に創刊されました。一方、『ロータリーの友』は57年前の昭和28(1953)年1月創刊です。日本のロータリーが拡大、発展して昭和27年(1952-53年度)に東西2つの地区に分かれる時、今後情報交換しあい、お互い手を携えてやっていこうとの事から、共通の機関誌の創刊が企画され、発刊となったものです。因みに地域雑誌としてRIの承認を受けたのは、30年前の昭和55(1980)年です。1975年以来過去35年間、ロータリアンの購読費と広告を主な収入源として1冊200円(消費税を除く)の安価で維持されています。また、地域雑誌の定義として、「活字版と電子版のいずれをも含む」と規定されていますので、ロータリーの友委員会では、『ロータリーの友』編集・発行のほかにホームページ「ロータリージャパン」の制作・運営にも携わっています。「ロータリージャパン」はロータリアン以外の人々に向けて、ロータリーの活動を載せていますので広報にご活用下さい。また、ロータリアンに向けてはロータリーの情報がきめ細かく載っていますので、何かとご参考にして下さい。

さて、『ロータリーの友』は、余り読まれていないとよく言われます。それは新聞、雑誌、または業界紙と比べて実務的でないので面白くないとの理由だと推測いたします。しかし、『ロータリーの友』はロータリアンのための雑誌であり、ロータリーについての活動や情報、ロータリアン同士の意見交換などを掲載していますので、「ロータリアンとして役に立つか、立たないか」という判断で評価し読んでほしいと思います。まずは『友』誌がロータリアンのための機関誌、情報誌、俗に言えば「ロータリアンの業界紙的なもの」だということを認識して下さい。自分の興味のある所だけでも読んで下さい。その事だけでもロータリーを更に理解することになると確信しています。

各々のクラブは、歴史と伝統に裏打ちされた、その地域に必要な素晴らしい奉仕活動がなされていると思います。しかし、それらの情報が他のクラブへ伝達されないというきらいがあります。一つのクラブでできることには限界があり、情報を交換することにより、それぞれのクラブが更なる発展を遂げていくのではないのでしょうか。まさしく『ロータリーの友』や『ガバナー月信』、他クラブの会報はそんな役割を十分果たしてくれると思います。『友』をはじめ「月信」「会報」には、ロータリアンが必要としているたくさんの情報や思いが載っています。クラブや地区の活性化のためにも、己のロータリーライフの充実感を得るためにも、ぜひ『友』をはじめとする、ロータリーの雑誌を、もっと活用していただければと思います。



委員会活動報告

第4回「5分で出来るホームページ作成講習会」

地区IC委員会

委員長 **光 銭 健 三**

Kenzo Kosen
(北斗RC)

日時:平成22年1月30日

会場:札幌市学習センター ちえりあ(札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10)

参加クラブ、委員会:札幌真駒内、小樽、小樽南、苫小牧東、北斗、苫小牧北、美唄、
当別、札幌北、札幌南、札幌西、札幌、えりも、滝川、砂川、学友会、G S E

一般の方への広報や地区内、クラブ内でのコミュニケーションの輪を広げる目的でホームページを活用することは、会員増強や退会防止にも役立つと考えられます。IC委員会では、各クラブや地区委員会の皆様を対象にホームページ作成講習会を開催し、今回で4回目となりました。「5分で出来る…」は少し大袈裟ですが、この講習会では簡単にホームページを作ることができるように、あらかじめひな形を用意したり、各クラブ用のURLを用意して、初めての方でもその場でホームページを開設できるように工夫しています。今回も櫻井政経次年度地区幹事をはじめ多くの皆様に参加していただき、充実した講習会を開催することが出来ました。また講習会終了後の意見交換会でも、楽しい有意義な時間を過ごすことが出来ました。



世界各地でロータリーの誕生日を祝賀

国際ロータリー公共イメージ支援グループ
エリアコーディネーター(アジア担当)

田岡久雄

(京都伏見RC)

2月23日はロータリーの誕生日、毎年、世界各地で有名な建造物にロータリーのロゴマークや国際ロータリーの強調事項である「End Polio Now」のメッセージを投影したり、大きなバルーンや横断幕を目抜き通りや観光地に掲げるなどして、人々にロータリーの活躍をアピールしています。

こういった催しが日本で報道されることはほとんどありませんので、日本の皆さんにはなじみが薄いかもしれませんが、昨年はビッグベンで知られるロンドンの国会議事堂やシドニーの音楽堂など、そして、今年の誕生日には、スペインの有名な大聖堂の正面に「End Polio Now」のメッセージが浮かび上がりました。もし、日本で奈良・東大寺の大仏殿やお寺の五重塔でこのようなことをしたら「景観条例」などに抵触したり、人々の鬱鬱(ヒツツク)を買うことになるかもしれませんが、なんと、エジプトのロータリーは、今年の2月23日にピラミッドに大きなロータリー・ロゴと「End Polio Now」の文字を浮かび上がらせました。ただ、日本でもできそうな行事の参考として、フィリピンのマニラから送られてきた写真には、繁華街での大きなバルーンが写っていますし、ブラジルでは、アルゼンチンとの国境にあるイグアスの滝に横断幕を掲げ、その前で地元テレビ局のインタビューを受けたり、アマゾナス州の首都マナウスでは、派手な「End Polio Now」の旗をつけたパラグライダーがアマゾン川上空を舞うというイベントを繰り広げたりしています。ちなみに、こういった行事は日本ではまだ行われたことがないので、来年度の広報補助金プロジェクトの一つとして企画してご覧になってはいかがでしょうか。



スペインのサンチアゴ大聖堂



エジプトのピラミッド



フィリピン・マニラの繁華街にバルーン登場





ブラジルの観光地イグアスの滝やアマゾン川上空で「End Polio Now」

チリ大地震災害義援金のお願い

南米チリ中部コンセプションの近くで、2月27日未明にマグニチュード8.8の大地震が発生しました。この地震により日本やハワイ、ロシアを含む太平洋一帯に津波警報が出されました。現在でもまだ余震が続き多くの家屋やビルが倒壊し深刻な被害が出ております。また、食料不足による略奪や治安の悪化も懸念されております。

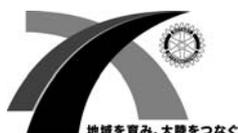
このため、当地区ではチリ大地震により被災された方々のために義援金を募り援助したいと存じます。お手数ではございますが、各クラブ単位で集めて戴き、下記口座へお振込み戴きますようお願い申し上げます。

尚、募金お振込み期限は4月30日と致しますので何卒ご協力の程宜しくようお願い申し上げます。

振込先口座：北門信用金庫本店 普通預金1253825
RI第2510地区代表幹事 神部洋史（かんべひろし）

2010-2011年度地区協議会開催のご案内

日	時	2010年4月18日(日)
		登録開始：午前9時 本会議開催：午前10時
場	所	ホテルさっぽろ芸文館(旧北海道厚生年金会館) 札幌市中央区北1条西12丁目 電話：011-231-9551
指名出席者		次期クラブ会長 次期クラブ幹事 次期クラブ奉仕委員長 次期職業奉仕委員長 次期社会奉仕委員長 次期国際奉仕委員長
資	料	下記資料をご持参下さい 次期クラブ会長：「会長要覧」 次期クラブ幹事：「幹事要覧」 出席者全員：「手続要覧」



国際ロータリー第2510地区 佐々木正丞ガバナー・エレクト事務所
〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
電話 (011)207-2510・FAX (011)207-2512 E-mail : rid2510@nifty.com



新入会員の紹介 (敬称略)



すどう しんご
須藤 真悟(札幌北RC)
★入会/H22.2.8
★職業分類/弁護士



えびな けん
海老名 健(小樽RC)
★入会/H22.2.16
★職業分類/海上保険



まつお みちよし
松尾 道義(恵庭RC)
★入会/H22.2.25
★職業分類/農業協同組合



みやの まさひこ
宮野 正彦(小樽RC)
★入会/H22.3.2
★職業分類/工業銀行



すずき としのり
鈴木 敏則(伊達RC)
★入会/H22.3.2
★職業分類/建築工事

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



唯木 久弥 会員 (伊達RC)
平成22年2月11日逝去(享年81歳)

ロータリー歴
1982年8月10日入会
1985～86年度 幹事
1993～94年度 会長

表彰関係

- ・ポール・ハリス・フェロー
- ・米山功労者
- ・25年間100%皆出席

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

札幌南RC	有田 均	会員(4回)	2月24日
	中川 勝之	会員(5回)	2月24日
新札幌RC	瀬川 俊男	会員(1回)	2月26日
函館東RC	黒島 一生	会員(1回)	2月23日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別RC	高野 喜世志	会員(1回)	1月29日
札幌西北RC	大島 利一	会員(3回)	2月5日
	小川 真治	会員(4回)	2月19日
札幌南RC	有田 均	会員(2回)	2月26日
	関 峯吉	会員(1回)	2月26日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌南RC	松根 壽史男	会員	2月26日
新札幌RC	秦 温信	会員	2月26日

規定審議会代表議員の変更について

2010年4月25日から30日、シカゴで開催される2010年規定審議会について、代表議員に選出されておりました森本正夫パストガバナーが健康上の理由により辞退されたため、佐藤秀雄パストガバナーが代表議員に選出されましたのでご報告申し上げます。

クラブ事務所及び例会場の変更について

札幌あけぼのRCの例会場が3月26日(金)より下記に変更となりましたので宜しくお願い致します。

新例会場 石屋製菓内「白い恋人パーク」内レストラン「あんとりぼー」
第1例会(夜間例会)は従前同様スポーツレストラン「おうるず」で開催

例会日・例会時間・例会場の変更等について

江 別 R C	4月29日(木)休会
岩見沢東 R C	4月13日(火)休会
小樽南 R C	4月30日(金)休会
千歳セントラルRC	4月 6日(火)清掃奉仕活動(屋外にて) 4月20日(火)移動夜間例会 場所:エアポートホテルアネックス 4月27日(火)移動例会 場所:清水農園(千歳市清流5丁目)
室 蘭 R C	4月29日(木)休会
室 蘭 北 R C	4月27日(火)夜間例会「親睦夜間例会」 18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
白 老 R C	4月13日(火)休会
苫小牧 R C	4月30日(金)休会



(270号)

ロータリー理解推進のために

書 名	著 者	発行年	ページ	
◆「ポール・ハリスの生涯とロータリーの精神(D.2620月信)」	牧田静二	2009	7P	※
◆「ロータリーについて考えていること」(D.2620月信)	高野孫左衛門	2009	3P	※
◆「ロータリーの綱領 ロータリーの目的に変えよう 改訳試案」 (ロータリーの心と原点)	廣畑富雄	2009	4P	※
◆「職業奉仕の一考察」(D.2790月信)	中村博亘	2010	2P	※
◆「ロータリーにおけるリーダーシップ」 (純ちゃんのコーナーpartVII)	深川純一・伊丹RC	2009	2P	※
◆「ロータリー理解推進月間に因んで」(D.2780月信)	渡辺治夫	2010	1P	※
◆「楽しさあってこそそのロータリー」(原点回帰)	齋藤直美	2009	5P	※
◆「2月はロータリー理解推進月間です」(D.2720月信)	山崎 勝	2010	2P	※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2010年4月のロータリーレート 1ドル90円



地区カレンダー(4月・5月)

4月 ロータリー雑誌月間		5月	
1(木)		1(土)	スウェーデン第2630地区へ GSEメンバー派遣(~5/30)
2(金)	スウェーデン第2630地区より GSEメンバー受入(~5/1)	2(日)	
3(土)	第10・11グループ合同IM(森)	3(月)	憲法記念日
4(日)		4(火)	みどりの日
5(月)		5(水)	こどもの日
6(火)		6(木)	
7(水)		7(金)	
8(木)		8(土)	
9(金)		9(日)	
10(土)		10(月)	
11(日)	第1グループIM(留萌)	11(火)	
12(月)		12(水)	
13(火)		13(木)	
14(水)		14(金)	
15(木)		15(土)	
16(金)		16(日)	
17(土)		17(月)	
18(日)	地区協議会(札幌)	18(火)	
19(月)		19(水)	
20(火)		20(木)	
21(水)		21(金)	
22(木)		22(土)	砂川IRC創立40周年記念式典及び第2グループIM(砂川)
23(金)		23(日)	
24(土)	韓国第3700地区大会(大邱) 第4・5グループ合同IM(札幌)	24(月)	
25(日)	2010年規定審議会(米国・シカゴ)	25(火)	
26(月)		26(水)	
27(火)		27(木)	
28(水)		28(金)	
29(木)	昭和の日	29(土)	函館五稜郭RC創立40周年記念式典(函館) 第7グループIM(北広島)
30(金)		30(日)	
		31(月)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.02.28	増減	内女性	
1	深川	4	32	32	0	1	86.26
	羽幌	3	45	48	3	1	81.38
	妹背牛	4	9	9	0	0	86.11
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	44	3	3	84.85
	小計		138	144	6	5	84.08
2	赤平	4	29	31	2	0	82.00
	芦別	3	37	38	1	0	83.33
	砂川	4	55	53	-2	0	96.58
	滝川	3	96	95	-1	2	74.00
	小計		217	217	0	2	83.98
3	美唄	3	33	33	0	0	83.95
	江別	3	34	33	-1	1	89.90
	江別西	3	30	29	-1	3	91.90
	岩見沢	3	85	86	1	0	94.05
	岩見沢東	4	33	35	2	4	83.55
	栗沢	4	24	23	-1	1	95.50
	栗山	4	27	27	0	2	98.00
	当別	4	31	30	-1	0	93.38
小計		297	296	-1	11	91.28	
4	札幌	3	102	127	25	0	95.65
	札幌あけぼの	4	13	15	2	1	93.00
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	86.84
	札幌北	4	43	42	-1	5	93.23
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	71.21
	札幌西	4	58	57	-1	4	90.13
	札幌西北	3	40	39	-1	6	95.30
	札幌手稲	4	33	36	3	2	89.35
小計		359	386	27	22	89.34	
5	札幌東	3	118	121	3	0	97.08
	札幌清田	4	18	18	0	4	96.43
	札幌幌南	4	61	63	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	29	-2	3	96.30
	札幌南	4	80	77	-3	0	98.70
	札幌大通公園	4	12	12	0	3	79.20
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	77.50
	新札幌	4	28	27	-1	3	96.73
小計		358	357	-1	19	92.74	
6	岩内	3	19	19	0	0	80.93
	倶知安	4	40	38	-2	4	70.50
	小樽	4	65	71	6	0	89.24
	小樽南	4	76	75	-1	1	86.49
	小樽銭函	3	22	23	1	2	75.00
	蘭越	4	9	9	0	0	94.44
	余市	4	41	40	-1	4	76.00
小計		272	275	3	11	81.80	

2月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,770人(106人)
増加会員数	70人
当月平均出席率	84.57%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.02.28	増減	内女性	
7	千歳	3	57	58	1	3	78.20
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	79.10
	恵庭	4	35	42	7	2	87.79
	北広島	3	16	14	-2	0	85.71
	長沼	3	20	20	0	3	90.00
	由仁	3	11	10	-1	1	81.48
	小計		176	182	6	11	83.71
8	えりも	3	21	22	1	0	89.39
	三石	3	15	15	0	1	93.30
	様似	4	22	23	1	1	80.40
	静内	4	70	76	6	1	88.32
	浦河	4	36	36	0	2	67.57
	小計		164	172	8	5	83.80
9	伊達	4	55	57	2	0	77.19
	室蘭	3	41	45	4	0	62.31
	室蘭東	4	36	40	4	0	83.75
	室蘭北	3	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	3	7	7	0	0	91.00
	小計		205	218	13	4	83.02
10	函館	3	83	88	5	0	77.97
	函館亀田	3	42	39	-3	2	96.40
	森	4	34	40	6	0	62.60
	七飯	4	17	17	0	0	70.50
	長万部	4	9	8	-1	0	68.75
	函館セントラル	4	31	29	-2	1	65.52
	小計		216	221	5	3	73.62
11	江差	4	18	14	-4	1	75.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	99.02
	函館東	4	43	45	2	4	84.89
	函館北	3	28	28	0	0	91.62
	北斗	3	17	17	0	1	68.60
	松前	1	5	6	1	0	20.00
小計		166	165	-1	6	73.19	
12	白老	4	28	30	2	1	75.60
	苫小牧	4	48	52	4	2	89.95
	苫小牧東	3	27	26	-1	2	92.32
	苫小牧北	4	29	29	0	2	100.00
	小計		132	137	5	7	89.47
合計		2,700	2,770	70	106	84.57	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>